

6月

9月
定期会

12月

3月

むらやま 議会だより

2018
vol.99

2018年10月15日
発行



9月
定例会

万円を認定

前年度比約2億1,203万円の減

平成30年第3回定例会は9月3日から21日までの会期で開催され、29年度決算などを審議を行いました。

一般会計の主な事業は東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたホストタウン事業・子育て支援医療給付事業・民有林林道整備事業・除雪事業・救助工作車整備事業などで歳出は132億8884万円となりました。

前年度に比べて歳入で2751万円、歳出で2億3955万円の増となり、差額の繰越額は2億1203万円の減額となりました。

他に特別会計決算として7件、歳出合計74億5980万円の認定を行いました。

29年度決算のほか、条例の一部改正など4件、補正予算5件が提案され、決算9件は決算特別委員会に付託し、全議案原案のとおり認定・可決し閉会しました。

条 例 等

◎村山市児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

楯岡五日町に児童遊園を新たに設置することに伴い改正を行うものです。（賛成多数により可決）

◎教育委員会委員の任命について

蒲原 良治氏（再任）

◎固定資産評価審査委員会委員の選任について

大沼 廣志氏（再任）

請 願

◎人権擁護委員候補者の推薦について

高橋 春實氏（再任）

◎財産区管理委員の選挙について

大久保・富本・袖崎財産区管理委員21名を選任

◎種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願

（賛成多数で継続審査）

◎日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願

（賛成少数で不採択）



開通した大石田村山インター周辺

平成29年度 一般会計決算総額

132億8,884

繰越 5億9,621万円

ポイント

- ふるさと応援寄附金として5億7617万円の寄附をいただき、返礼品として3億5770万円分を配達しました。
- 中学生以下の医療費自己負担に8458万円を助成し、子育て支援を行いました。
- 多面的機能支払交付金として市内12団体に対し維持管理や補修等にかかる費用の一部を負担しました。
- 企業の立地・設備投資を促進するため、市内に工場、機械などを新設・移設・増設した法人・個人に補助金を交付しました。
- 老朽化した消防署の救助工作車Ⅱ型を更新し、消防力の充実を図るとともに、複雑多様化する救助事案への対応強化を実現しました。



更新した救助工作車Ⅱ型

29年度の主な事業

★樫岡小学校改築事業	6億8,403万円
★除雪事業	3億4,146万円
★救助工作車整備事業	1億724万円
★夢応援奨学金事業	2千490万円
★東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業	2千299万円
★新設保育園施設整備事業	1千700万円
★買い物バス運行事業	1千222万円
★Jアラート新型受信機導入事業	648万円
★小型除雪機購入費補助事業	343万円
★姉妹都市交流事業（ヤクーツク市・バリー市）	337万円
★GOGOむらやまインターナショナル・キッズ事業	97万円

決算特別委員会



決算特別委員会委員長

海老名幸司

本委員会は、予算の執行が適正かつ効率的に行われてきたか、ま

た施策や事業の目的が
どの程度達成され、市
民サービスや福祉の向
上にどのように貢献し
たかなどの観点から慎
重に審査を行いました。

と決定しました。決算
全般について申し述べ
ると総合計画三年目と
して、「次世代へ引き継
ぐ魅力のある村山市」
の実現に向かって一定の
進捗があつたものとし
て評価するのですが、
一方において厳しい財
政状況下、経営感覚を
もつた財政運営に努め
られるよう希望します。

災害時には、食料と同時に飲料水も必要不可欠であることか



林道の土砂災害（山の内）

総務文教分科会

大雨・洪水による水害には、土嚢が必要不可欠ですが保管場所や手続きなど、周知不足が否めません。ハザードマップへの掲載や市民センターとの連携など、周知方法や防災意識の向上が図られるよう要望します。

災害時には、食料と同時に飲料水も必要不可欠であることか

と決定しました。決算
全般について申し述べ
ると総合計画三年目と
して、「次世代へ引き継
ぐ魅力のある村山市」
の実現に向かって一定の
進捗があつたものとし
て評価するのですが、
一方において厳しい財
政状況下、経営感覚を
もつた財政運営に努め
られるよう希望します。

学校施設については、冷暖房設備や電子黒板、タブレットなどの情報機器の環境整備が急務です。長寿化計画などで検討し、学校ごとに差が生じないよう計画的な運用を要望します。

すが、返礼品の見直しなど精力的に取り組んでいただくよう

市内を走るバスの運行については、路線や料金も含め、住民のニーズを調査分析し、実情にあつた運用になるよう要望します。

ふるさと納税については、産地の問題などへの助成を要望します。

さくらんぼはついで
は高齢化により樹木
の伐採や人手不足の
声が聞かれます。次
の世代に引き継ぐ取
り組み、やめる人か
らやりたい人へ、そ
んな「つなぐ」仕組
みづくりの検討を要
望します。



ブルガリア選手団

産業厚生分科会

方か林山市に来るような友好都市としての、一歩進んだ交流の仕掛けや方策の検討を要望します。

流シヨツプは区民へ
大変好評のようです
台東区からも大勢の

組み、定住者の増加に繋げていた。だくようを要望します。

福祉の制度は年々複雑になっています。業務を社会福祉協議会と連携して行つていますが、定期的に精査し市民生活の向上に取り組むよう要望します。

力強い支援となつて
います。市内一か所
の設置ですが、施策
の拡充として施設の
誘致の検討を要望し
ます。

病児保育が行われているベテスタ(湯野沢)

軽減のため、「口タウイルス」についての新たな助成の検討を要望します。

子育て世代にとって病児保育は、非常に力強い支援となっています。市内一か所の設置ですが、施策の拡充として施設の誘致の検討を要望します。

病気の早期発見のため、検診の受診率を向上させるとともに結果のおもわしくなかつた方への受診勧奨や指導など、積極的な働きかけを希望します。

Q 2020年頃開通と言われていた東北中央自動車道の開通が遅れるようであるが、状況はどうなっているのか。

A 南河島地区は、超軟弱地盤であり、「カードボードドレイン工法」では、開通後も長期間沈下が発生し、維持管理・補修が困難であることから、「真空圧密工法」で施工することになり、時間もかかり、工事費もかかるようになった。



今年度中の開通が見込まれる東根北インター付近

結城正

東北中央自動車道の事業計画変更に伴う影響は

答弁 完成時期の明示はない

Q 高速道路の開通時期の見通しは、大体平成34年～35年くらいとの答弁があつたが、従来は平成32年頃を見通して道路整備などの事業計画を立てていたと思われる。そこで少し開通時期の見通しが遅れたことによりインター周辺の工事を後にするか、13号線沿いや市役所周辺を早期に着手する方法もあると思うがどのように考えているか。

A 従来通り3か年計画に沿っていきたとを考えている。

Q ローズブリッジの問題などもあり、高速道路開通に合わせて駅を新たに建設するかどうか考えざるを得ない状況にあると思うが、どのように考

Q 開通が遅れることにより、大石田村山インターの土生田十字路付近の混雑、交通量の増加による交通事故など、多くの問題が出てくると思う。

A 地域の住民・市民に迷惑をかけないように配慮していく。

Q 2020年頃開通と言われていた東北中央自動車道の開通が遅れるようであるが、状況はどうなっているのか。

A 南河島地区は、超軟弱地盤であり、「カードボードドレイン工法」では、開通後も長期間沈下が発生し、維持管理・補修が困難であることから、「真空圧密工法」で施工することになり、時間もかかり、工事費もかかるようになった。

Q 開通が遅れることにより、大石田村山インターの土生田十字路付近の混雑、交通量の増加による交通事故など、多くの問題が出てくると思う。

A 地域の住民・市民に迷惑をかけないように配慮していく。

海老名幸司

高速道開通までの事業計画は

答弁 従来通りの計画に沿つていく



道の駅むらやま 諸問題を抱えるローズブリッジ

ているか。
道の駅を新たに建設すると、少し時間をかけて直施設を併設したいと考えているが、周辺状況や安定した経営を維持できるかななど、様々悩んでいる状況下にある。少し時間をかけて考えてみたいたいと思っている。

Q ローズブリッジの問題などもあり、高速道路開通に合わせて駅を新たに建設するかどうか考えざるを得ない状況にあると思うが、どのように考

一般質問

※一般質問のQ&Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。

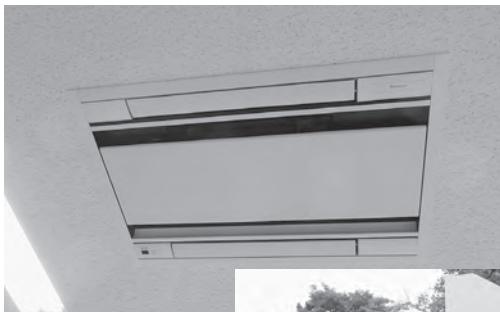
※P D C Aサイクル：計画、実行、評価、改善という順に業務をサイクルさせることで目標を達成し業績を向上させるための経営管理手法



犬 飼 司

教育施設にエアコン設置を望む

答弁 他の計画と合わせて
実施していく



全校に設置が望まれるエアコン設備

Q 猛暑の続く近年、子どもの命を守るために教育施設にエアコンは必需品ではないかと考えるが。

A これからも暑い夏が続くのではないと感じており、冷房は必要だと考えている。急いで資金の手当をしなければならないが、他に計画もあるので計画と合わせて国と歩調を取りながら早急に実施していく。

Q 自治公民館は子どもから老人まで幅広い年齢の方が利用する場所であり、地域の活性化と融和や連帯を強める大事な施設である。冷房設置に補助金は考えられないか。

A 今年4月1日に改正を行つたバリアフリー化の改修に該当

し、事業費10万円以上で30%の補助金を受けられる制度がある。

Q 市民生活に大きく影響のある雪であるが、降雪時期前に地域毎に除雪説明会を実施している。市民に寄り添い※P D C Aサイクルを確実に回していくため、シーズン後の反省会や意見交換会は考えていない。

A 苦情や要望についてはその都度対処しております、秋にまとめて業者に話をしている。シーズン後の意見交換会は考えていない。

Q 学校給食における地産地消の取り組みについて。

A 29年度は小中合わせて31件の異物混入があった。対応マニュアルでは、事故がった場合は学校長が教育委員会に連絡し、給食停止もあriえる。

A アレルギーを持つ児童は小学校33人中学校10人いる。新学期が始まる前に保護者からの連絡と面談を行い、献立が決まる2か月前に材料の成分表を保護者に配布し確認後に、業者に確実な発注をするように指導している。

Q 給食への異物混入の対策について。



菊 池 貞 好

学校給食の地産地消は

答弁 できるだけ学区内から納入を



地産地消がのぞまれる学校給食

Q 地産地消の取り組みについて。

給食への異物混入の対策について。

29年度の消費については、村山産はえぬき一等米100%を使用している。野菜は県産材を40%、果実は60%、生肉は50%、きのこ大豆加工品は50%使用しており、山形県食育地産地消推進計画の数値目標をクリアしている。小学校の自校給食においても地域密着型を目指し、野菜の供給を市内全校で545回23品目を地元から納入している。できるだけ学区内もしくは、市内より納入する指導をしている。

Q 安全対策はどのようにしているのか。

A 29年度は小中合わせて31件の異物混入があった。対応マニュアルでは、事故がった場合は学校長が教育委員会に連絡し、給食停止もあriえる。

Q アレルギーを持つ児童は小学校33人中学校10人いる。新学期が始まる前に保護者からの連絡と面談を行い、献立が決まる2か月前に材料の成分表を保護者に配布し確認後に、業者に確実な発注をするように指導している。



菊池 大二郎

個人情報の流出を防ぐ指導環境の整備を

答弁 可能な限り、早く進めたい



児童・生徒のみならず指導する側の環境整備を

Q 小中学校約160名の教職員が職務上使用するパソコンは個人所有のものか。

A 市からの提供は各校5台程度。それ以外は全て私物である。

Q 個人情報の流出防止の点からも環境整備が必要ではないか。

A 教職員用のパソコン配備や子ども用のICT化に向けて、可能な限り早く進めていきたい。

A 27・28年度は約162万人。29年度は約146万人。

Q 村山西口木テル（経済効果を念頭に市有地を10年無償貸付）の決算状況を検証しているのか。

A 特段、確認していない。

Q 余暇開発公社に観光物産部門（観光物産協会）や歴史文化部門（生涯学習課所管）を一括させ、企画力をある民間理事を採用し、一体的・一元的な組織を形成してはどうか。

A 最上川右岸（東側）の堤防が決壊し、浸水した場合の大規模の想定は、現在配布のハザードマップより拡大し、JR線を超える範囲となり、浸水深は最高10m、浸水継続時間は沿岸で最長二週間、市庁舎周辺では、最深3.9mと予測している。

A 浸水の恐れがあると判断した時点で、最上川を挟み東西の行政施設に緊急車両を分散、災害拠点として人員も相応に配置する。

Q 洪水が発生もしくは発生が予測される場合の対応について。

A 地域防災計画に沿った対応を基本とし、総合的に早目の判断ができるよう情報収集が重要である。

Q 災害発生時の消防署の対応、緊急通報への対応について。



矢萩 浩次

大雨・集中豪雨による災害への対応は

答弁 総合的に早目の判断が重要である



前期工事が完成した長島地区堤防

Q 年間913万人のファンづくりを目指しているが、実際の交流人口数の把握は。

A 土砂災害や大規模洪水に備えた市職員の体制づくり。

Q 8月の豪雨を受けて、防災計画で至急対応すべき点は。

A 小中学校約160名の教職員が職務上使用するパソコンは個人所有のものか。

A 市からの提供は各校5台程度。それ以外は全て私物である。

Q 個人情報の流出防止の点からも環境整備が必要ではないか。

A 教職員用のパソコン配備や子ども用のICT化に向けて、可能な限り早く進めていきたい。

A 27・28年度は約162万人。29年度は約146万人。

Q 村山西口木テル（経済効果を念頭に市有地を10年無償貸付）の決算状況を検証しているのか。

A 特段、確認していない。

Q 余暇開発公社に観光物産部門（観光物産協会）や歴史文化部門（生涯学習課所管）を一括させ、企画力をある民間理事を採用し、一体的・一元的な組織を形成してはどうか。

A 最上川右岸（東側）の堤防が決壊し、浸水した場合の大規模の想定は、現在配布のハザードマップより拡大し、JR線を超える範囲となり、浸水深は最高10m、浸水継続時間は沿岸で最長二週間、市庁舎周辺では、最深3.9mと予測している。

Q 洪水が発生もしくは発生が予測される場合の対応について。

A 地域防災計画に沿った対応を基本とし、総合的に早目の判断ができるよう情報収集が重要である。

Q 災害発生時の消防署の対応、緊急通報への対応について。

市民にも選ばれる宅地造成を



高橋 菜穂子

答弁 計画的に進めたい



区画整備予定の渋田地区

Q 昨年3月、市は小規模企業振興基本

A 来年度から実施する方向で準備を進めている。

Q 若い世帯の市内からの転出を抑えるために、便利な橋岡地区の宅地造成を計画的

A 今後の方針と合わせて検討する。

Q 子育て支援と母子保健事業の窓口を甑葉プラザ内や周辺に整備してはどうか。

A 学童保育が使用していたスペースに妊娠から出産後まで一か所で相談できるような体制を作れるように調整をしていく。

に進め、市民への周知を早めに行うことを探望する。また、新築やリフォーム補助など住宅支援策には、父母世帯が近くに暮らす場合に適用できる近居要件を追加して三世代の市内への定着を促進して

A 土地開発公社で販売した鶴ヶ町スマイルタウンは、全区画契約済み。渋田地区に平成32年度の分譲を予定している。その後も、小規模な宅地の造成を順次進めていく。

はどうか。



村山市土砂災害ハザードマップ



中里芳之

答弁 重要なこと 検討する

Q ①土砂災害や洪水のハザードマップはあるが巨大地震を想定したものはない。早く作成・周知を。②市防災計画には、何の被害がどの程度いつまでに軽減するのか、被害軽減の目標値がない。目標値を設定した戦略的な対策を。

A ①そのような方向で検討する。②大変重要なこと。計画に盛り込むかについては今後検討する。

Q ブロック塀の危険度の調査や、撤去・解体・改良に支援を、またどの学校に拡大するのか。

A ブロック塀の危険度の調査や、撤去・解体・改良に支援を、またどの学校に拡大するのか。

条例を制定したが、それをもつと生かして実のあるものにするために、振興計画の策定を。

A 県内で振興計画を策定している自治体はない。今ある制度を活用して条例を成就していく。

Q 小規模企業者の主な要求は「仕事の

確保」「事業継続への支援」「後継者問題」。「事業継続への支援」では一定の前進はあるがまだまだ支援は不十分。小規模企業者の全数調査を行い政策づくりを。

A 支援情報は自分がら取りに行くもの。

Q 本市の洪水ハザードマップは3月に完成とあるが、いつ頃市民に公表するのか。

A 周知とともに、町内会集落ごとの説明会が必要と考えるが。

Q 市民にマップを配布するだけではなく周知することが重要である。各地域ごとの説明会や出前講座などを開催する予定である。

A 市道は5か所、林道は7つの路線で土砂崩落などの被害があつた。農作物は市内全域でそばに約20haの浸水被害、ビニールハウス1棟の浸水被害、畦畔の崩落10か所が確認されている。対策についてはこのたびの豪



8月6日 大雨後の蟻田川



川田律子

ハザードマップは配布だけでなく説明会を

答弁 周知だけでなく説明会を開催していく

Q 小中学校の工アコ
ン設置については本市は遅れをとつている。他市では、あと1年

A 今までの計画にプラスアルファで考

雨で県は総合支援対策として、被害に対し農業や肥料、そばの再播種、ビニールハウスに2分の1の補助が決まりた。

Q 農業・農村は国土
の保全、水源の涵
養、自然環境の保全、
良好な景観の形成等の
多面的機能を有し、利益は広く国民が享受している。しかし、近年の農業農村の過疎化や高齢化・混住化などの進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつたり、共同活動の困難に伴い、担い手農家の負担の増加も懸念されている。そこで国では多面的支払交付金を法制化して地域の共同活動を支援することにしている。今年で5年経過し今後の課題と見通しについて伺う。

A 事務量が多く、来年度から二期対策



多面的機能支払交付金での農道草刈り作業



石澤祐一

多面的支払交付金をもつと使いやすく

答弁 二期対策に向け要望する

となるため、もつと使いやすいものになるよう県に要望していく。

Q 市民体育館では今後2か年間ブルガリア新体操『ローザキヤンプ』と来年、市制65周年を記念して8月11日に大相撲夏巡業を計画しているが、今後も暑い夏が続くとの予想もありエアコン設置の計画について伺う。

A 今夏の市民体育館で熱中症は3名いた。エアコンは今年の補正で設置する。予算是スポーツくじより助成される予定である。

本市の観光交流資源とは

答弁 代表的なものは

そば、バラ、徳内まつり



大山正弘

るところである。

し今後も継続する。

Q 本市の特色ある観光資源とは何か。

A 村山市の観光における三大資源は、

「そば」「バラ」「徳内」

である。農作物「さくらんぼ」「スイカ」なども観光資源であり、

最近は東京五輪のホストタウン事業として

「ローズプロジェクト事業」を開拓しており、バラ関連の新商品開発が行われている。

Q 民間事業者を開発に誘導する事業とは。

A 駅西開発エリアへの開発を誘導するために、特に駅西開発を進める上で、ヤマザワ北側の2.5haの範囲に限定した補助金を想定したもので、開発を促す積極的な支援策のひとつとして考えてい



勢いある本市の景観（東沢バラ公園）

人口減にあつた交通のインフラ整備を

答弁 新たな運行経路を含め検討する



森一弘

所に行かず身近にある市民センターでできる職員配置できないか。

Q 人口減・高齢化。この時代に合ったインフラ整備をしていくべき。市民バス・買物バス運行は的を射ている。市民は、健康・福祉・子育てを相談したいが市役所に行くのに足がない。救う方法がいま一つだ。市民は同一サービスを受けるべきだ。山交利用しかできない、大久保・袖崎の運賃は倍以上。松本市では、70歳以上はバス券で民間も含めバス路線を平等に利用しているが。

A 3年前、山林の国士調査を進めるべきと質問をした。どのくらい進んだか。

Q やつていい。進捗率9.6%だ。

A 予定。

Q 3年前、山林の国士調査を進めるべきと質問をした。どのくらい進んだか。

A やつていい。進捗率9.6%だ。

Q 各地域のまちづくり、市民センターを中心うまく機能している。相談業務、役



みなさんの市民バス

百聞は一見にしかず!!

よりよい行政のための 視察活動 レポート



徳内まつりを二日後に控え、何かと多忙な時期に閑わらず、市商工会青年部の皆さんと一緒に意見交換会を開催させていただきました。7名の出席者の業種も多样で、幅広い話が聞かれ有意義な会となりました。

地元村山を盛り上げたいとUターンしてこられた方。帰りたい・住みたい・働きたい・ちづくりから、自身の地域貢献を考えている方。若者はどう取り組むかを模索している方など、共通することは、村山市がより良くなるためにはどうすれば良いか、そしてそこに自身がどう関われるか、どう貢献できるかを真剣に考えていることでした。



活発な意見交換がなされた

地方創生対策 特別委員会 意見交換会

8月22日

地方だからこそIT化されること、HPやブログ・SNSなどをどう充実させていくかなど、ITを駆使し誘客に役立てていることはさすがだと感じました。人口減少問題では、高値でも付加価値をつけサービスを充実させることができ、将来の村山市にとってプラスではないかと、逆転の発想も出てきました。

商店街の今後の在り方も発想を転換してと、青年部らしい意見が聞かれ、今後市政に反映出来るようにすることが務めとなります。

①地方の再生について

「プレミアム商品券で地方創生できたのか。

以上、地方議員が政治に向かう姿勢を研修しました。

4項目が挙げられます。

とりわけ、①については、斜め読みを可能とするために今読んでいる頁に次頁の紹介文を掲載したり、深く知りたい方のためにQRコードを掲載しています。

また、③については、

生活実感のない官僚が考えたことであり地方の実情に合わないことだ。地方は自分たちで考えて、自分たちの地域に役立つかどうかの視点で行動するべきである。」

6団体を通じて訴えていくべきである。」

なお、編集におけるポイントとして、①読み手側に立った広報②見出し・写真を見れば分かかる広報③町民参加の広報④専門業者の参画、の

山形県市議会議長会 議員研修会

8月9日

③政治への信頼回復について

「地方を知らない官僚や国会議員が多くなっている。中央のペースに合わせるのではなく、市民の代表である市議会が市民の声を、地域に合った施策を、地方による講演。

講演する 片山善博氏

4項目が挙げられます。

とりわけ、①については、斜め読みを可能と

するするために今読んでい

る頁に次頁の紹介文を

掲載したり、深く知り

たい方のためにQRコ

ードを掲載しています。

また、③については、

町民とのコラボレーションを意識。町民の写真やインタビュー記事を多數掲載し、町民が登場する紙面づくりに努力しています。

さらに、④については、全国の議会報発行

を手掛ける「会議録セ

ンター」という会社が編集会議に随時参加し、

「国で決めることがだが影響を受けるのは地方だ。金利は自然体に合わせないと駄目、日銀ががんじがらめにして銀行も疲弊している。」

読んでもらえなければ作らないのと同じ

クールにて最優秀賞を獲得。議会広報委員会が28年9月に設置され、広報活動に議会全体として力を注いでいます。

○埼玉県大里郡寄居町議会

なお、編集におけるポイントとして、①読み手側に立った広報②見出し・写真を見れば分かかる広報③町民参加の広報④専門業者の参画、の

度全国町村議会広報コンペティションにおいて最優秀賞を獲得。議会広報委員会が28年9月に設置され、広報活動に議会全体として力を注いでいます。

度全国町村議会広報コンペティションにおいて最優秀賞を獲得。議会広報委員会が28年9月に設置され、広報活動に議会全体として力を注いでいます。

11

むらやま市議会だより99号

平成30年10月15日発行

的確なアドバイスを提供しています。

こうした取り組みにより、全議員が常に材料意識を持ちながら町民の意見を拾い上げ、意見に対する議会の考え方を示すという枠組みを構築しています。



寄居町役場にて

寒河江市議会では、27年度からタブレット端末導入の検討会を設置。視察研修を重ね、災害時の情報伝達や情報共有に向けた利活用を開始。29年度9月定例会より

タブレット端末導入に向けて

○寒河江市議会

また、④については、紙代・印刷代・人件費だけでなく、保管や廃棄経費の面でも効率化が見込まれます。さらに、⑤により、必要なデータを瞬時に検索・閲覧が可能となり、スピード感をもつた議員活動が期待されます。これらの効果に加え、これらは効率化され、運営が改善されることが期待できます。

「永遠のにほんのふるさと」民話の里としての街づくりから、進化し続ける地域総合力で元気再生を目指していける遠野市。



遠野みらい創りカレッジ

改革クラブ 行政観察 8月3日

議会から市への説明要求に対して「資料の持ち合わせがない」と審議が停滞する事態を回避できます。

○岩手県遠野市

例えば、①により、議会から市への説明要求に対して「資料の持ち合わせがない」と審議が停滞する事態を回避できます。

市政・公明クラブ 観察研修 7月25日～26日

また、④によるコスト削減⑤議会及び市関係情報の携帯による議員活動の充実・拡大、の5項目が挙げられます。



寒河江市役所にて

①資料閲覧の迅速化及び情報伝達のリアルタイム化②資料の作成・イム化③カラー表示による図表の明確化など

も模索しており、村山市議会での導入検討を進めたい 것입니다。

事業」は、生産性の高い産業や雇用の創造を目指して起業を支援しています。また、起業型地域おこし協力隊は、マネジメント会社を協力隊と市の間に入れ、動きやすさを実現した参考となる仕組みでした。

まちづくりが本市の重要課題であり、開通に伴い道の駅移転は今後早急な議論がなされるものと思われます。

健全経営には機動力と経営感覚が必要であり、立地や内容のみならず運営主体となる組織がとても重要であると感じました。

○道の駅「にしね」

「まめでらがく」

（9月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ記載しました）

審議結果報告

議案等の名称	議員名	議決結果	市政・公明クラブ						改革クラブ			無会派			賛成	反対	
			矢萩	高橋菜穂子	石澤祐一	森一弘	大山正弘	茨木久彌	海老名幸司	川田律子	中里芳之	犬飼司	菊池大二郎	結城正	佐藤貞好	秋葉昌昭	長南誠
議案提出	条例 村山市児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	補正予算 平成30年度一般会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	議 8 7
請願	請願1号 種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	議 8 7
	請願2号 日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	議 7 8

正副議長及び監査委員は会派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

可 = 可決 否 = 否決 ○ = 賛成 × = 反対

議会活動

■7月

- 1日 全国さくらんぼ居合道大会
仙台村山会総会
- 3日 村山市議会議員OB会総会
- 5日 議会だより編集委員会
- 6日 三市一町正副議長連絡協議会
- 9日 議会運営委員会協議会
- 10日 葉山開発協議会総会
- 12日 議会だより編集委員会
共立衛生処理組合議会運営委員会
- 13日 長島築堤工事完成祝賀会
- 16日 塩竈みなど祭
- 18日 議会だより編集委員会
会派代表者会議
- 20日 全員協議会
東北中央自動車道進捗状況等説明、現地視察
財産区管理委員改選関係会議
議会だより編集委員会

■8月

- 1日 議会だより編集委員会行政視察（～2日まで）
- 3日 後期高齢者医療広域連合議会定例会
改革クラブ視察研修
- 9日 会派代表者会議
山形県市議会議長会第56回議員研修会
- 10日 総務文教常任委員会協議会
- 15日 市戦没者追悼式
- 21日 全員協議会
- 22日 地方創生対策特別委員会意見交換会
- 24日 徳内まつり（～26日まで）
- 28日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
広域斎場事務組合定例会

■9月

- 3日 全員協議会
本会議
- 5日 一般質問
- 6日 一般質問
- 7日 一般質問
- 11日 決算特別委員会
- 12日 常任委員会・決算分科会
- 13日 常任委員会・決算分科会
- 14日 秋のバラまつりオープニングセレモニー
地方創生対策特別委員会
- 19日 常任委員長会
議会運営委員会
- 20日 議会だより編集委員会
- 21日 全員協議会
決算特別委員会
本会議
- 27日 議会だより編集委員会
- 28日 公立病院組合議会視察研修

平成29年度 政務活動費収支報告

★政務活動費とは…

地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として会派に対して交付されるものです。本市では「村山市政活動費の交付に関する条例」に基づき、議員一人当たり月額10,000円の政務活動費を交付しています。収支報告書には、領収書等を添付し、残余額は市に返還しています。

**議会ホームページで領収書も含め、
すべて公開しております。**

H29. 4. 1～H30. 3. 31

会派名	所属議員（◎代表者）	
市政・公明クラブ	◎大山 正弘、矢萩 浩次、高橋菜穂子 石澤 祐一、森 一弘、茨木 久彌、海老名幸司 秋葉 新一、長南 誠	
交付額	執行額	返還額
1,030,000	1,030,000	0
会派名	所属議員（◎代表者）	
日本共産党村山市議団	◎中里 芳之、川田 律子	
交付額	執行額	返還額
240,000	151,014	88,986
会派名	所属議員（◎代表者）	
改革クラブ	◎菊池大二郎、犬飼 司、結城 正、菊池 貞好	
交付額	執行額	返還額
460,000	193,120	266,880
会派名	所属議員	
無会派	佐藤 昌昭	
交付額	執行額	返還額
120,000	10,000	110,000

※年度内に市政・公明クラブと改革クラブで議員数の変動がありました。
※議長、副議長は無会派ですが、市政・公明クラブと政務活動を行っています。



スマホやタブレットでより身近に

平成30年9月より、パソコンからの視聴に
加え、スマホやタブレットから議会中継をご覧
いただけます。是非ご利用ください。

平成29年度インターネット
アクセス件数は約3,100件
でした。



議会中継ページ
QRコード

市民の声



小山 隆房さん
(大久保)

誰もが一度は、やったことのあるドッジボール。皆さんは、競技ドッジボールを知っていますか。

甑葉ドッジボールス波少（大久保ビッグファイターズ）は、今年で27年になります。全国大会出場を目指して活動しています。

三つの感謝（練習場を貸してもらっている学校に、スポーツをさせてもらっている家族の方に、そして指導者の方に）を常に「ありがとう」の心を忘れないで楽しく練習をやっています。

練習の最後は、試合形式で親子

対決。コミュニケーションを大切にしています。

皆さんも参加してみませんか。現在、ス波少の仲間を募集中です。

また同時に社会人チームも募集しています。一度、見学に来てみて下さい。



メンバーと練習風景

〈表紙写真〉

9月15日、ちぐさ認定こども園の園庭にて運動会がありました。子どもたちも、ご家族も、一緒に楽しんでいました。マーチングバンドの演奏も見事でした。

◎ちぐさ認定こども園（大久保）園長：大場真智子

ちぐさ児童センターは今年度より認定こども園となり24名の園児が通園しています。

【園児数】

年長組 8名、年中組 8名、年少組 8名



議会だより編集委員会

委 員
副 委 員 長
員

犬 飼 矢 萩 菊 池 高 橋 秋 葉
秋 司 大 二 郎 菜 穂 子 祐 律 子 新 一

議会の傍聴へお気軽においでください。

市議会 12月
定例会のお知らせ

11月26日(月) 議会運営委員会／11月30日(金) 全員協議会・本会議

12月 4日(火) 代表質問／12月 5日(水)～7日(金) 一般質問

12月10日(月) 常任委員会／12月11日(火) 常任委員会・地方創生対策特別委員会

12月13日(木) 常任委員長会・議会運営委員会／12月14日(金) 全員協議会・本会議

◎本議会だけでなく全ての会議が原則公開です。お気軽においでください。

会議の予定はホームページなどでお知らせします。

◎インターネット中継も配信中 詳しくは、

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/murayama/WebView/rd/council.html>